

令和5年度 保護林モニタリング調査結果報告

北海道森林管理局
株式会社環境指標生物

下図画像: 国土地理院の地理院タイル(淡色地図)を使用(<https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/std/{z}/{x}/{y}.png>)

1. 保護林モニタリング調査について
2. 令和5年度モニタリング調査対象保護林
3. モニタリング調査結果報告
 - 3-1. 森林生態系保護地域（1箇所）
 - 3-2. 生物群集保護林(4箇所)
 - 3-3. 希少個体群保護林(32箇所)
4. 森林概況調査等マニュアルの改良について

1. 保護林モニタリング調査について

1 保護林モニタリング調査について

本調査の目的

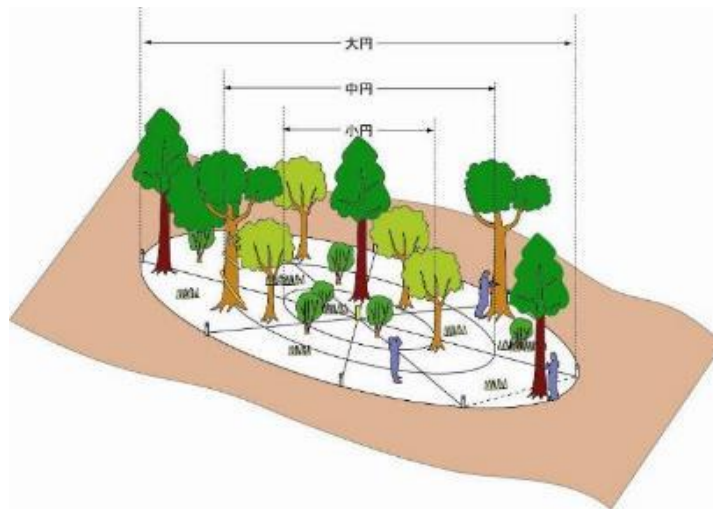
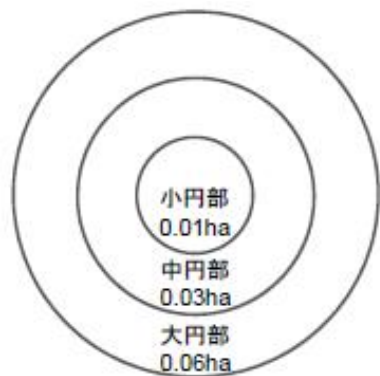
- 林野庁は、国有林内の原生的な天然林や希少な動植物の生息・生育地に保護林を設定している。
- 本調査は、保護林の保全・管理を行うために、保護林の現状を的確に把握し、個々の保護林の現状に応じたきめ細やかな保全・管理の推進に資するため、保護林の設定目的に照らして保護林を評価することを目的とする。
- 平成27年度に保護林制度は改正され、平成29年度より新たな保護林3区分に再編された。
- 平成29年3月に保護林モニタリング調査マニュアルが改訂された。
- 本調査は「林野庁版 新マニュアル」及び「北海道森林管理局版 森林概況調査等マニュアル」に則り実施した。

1 保護林モニタリング調査について

保護林モニタリング調査方法

①-1. 森林詳細調査（毎木調査）

- ・ 調査マニュアルに従った0.1ha円形プロット内での毎木調査
- ・ その他、定点写真の撮影



円形調査プロット（全体0.10ha）

毎木調査

細分	胸高直径対象木	
	旧マニュアル	新マニュアル
小円部	5cm以上 1cm以上(特定樹種)	1cm以上の全て
中円部	5cm以上	5cm以上
大円部	18cm以上	18cm以上

※過年度結果との比較時に、小円部における計測対象木が異なる(増加している)ことに留意が必要。

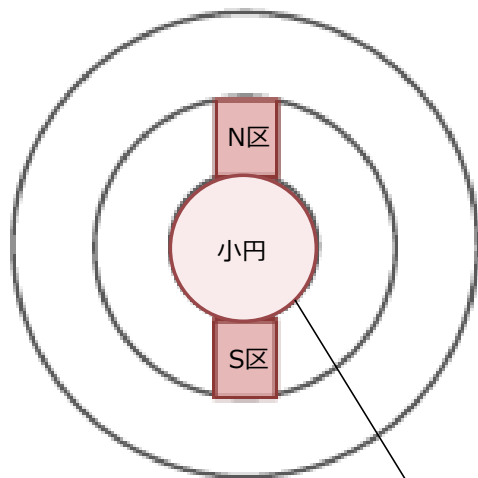
1 保護林モニタリング調査について

保護林モニタリング調査方法

①-2. 森林詳細調査（下層植生調査）

4m×6mの区画内（N区、S区の2箇所）で植生調査を実施

円形調査プロット
(全体0.10ha)



保護対象が下層植生の場合、
小円内全体を植生調査

植生調査（下層植生調査）

	細分	調査対象（草本層の全出現種）
旧マニュアル	小円部	低木層（S）及び草本層（H）の種名及び優占度
	中円部	中円部で初めて出現した種を記録（種名のみ）
	大円部	大円部で初めて出現した種を記録（種名のみ）
新マニュアル	細分	調査対象（調査区画内の全出現種）
	中円の内周と外周の間（N区・S区の2箇所）	低木層（S）及び草本層（H）の植被率、優占種名とその他出現種名
	調査区以外の特記種	調査区以外の希少種や優占種など

※過年度結果との比較時に区画が異なるため、経年変化等の比較がやや難しい。

1 保護林モニタリング調査について

保護林モニタリング調査方法

② 森林概況調査

- 概ね5年ごとに実施する簡素な現況調査。
- 保護林調査プロットで、右の野帳に沿った森林概況調査と定点写真撮影を行う。
- 過年度調査結果と比較し、林況に変化が認められた場合に対策を検討する。
- 各保護林で確認された影響があれば、
 - ア. 野生鳥獣、
 - イ. 病虫害、
 - ウ. 外来種、
 - エ. 温暖化、
 - オ. 自然攪乱、
 - カ. その他 より選択して記録する。

概況調査野帳 R4版

森林概況調査票(R4版) その1

調査年月日	年 月 日	管轄の森林管理者	森林管理者
保護林NoとプロットNo		調査者所属	
保護林名	森林 生群 希個	氏名 ※全員記入	

※原則として過年度調査プロットの中心点(黄色紙等)まで行き調査を実施する。
 ※該当する□にチェックを入れる。チェック漏れのないよう確認すること。
 ※調査位置の位置・地形等は、過年度調査情報を参考とし、現地で再確認する。現地調査の際には、過年度調査票を参照する。

現地調査の位置・地形等

林小班	林班 小班	標高	m	斜面方位	斜面傾斜	
調査位置 (座標値) ※度分秒標記	N	"	"	GPS取得確認 (Noを記入)	プロットの再現	<input type="checkbox"/> 既存 <input type="checkbox"/> 新規
局所地形	<input type="checkbox"/> 平坦尾根 <input type="checkbox"/> やせ尾根 <input type="checkbox"/> 山腹凸斜面 <input type="checkbox"/> 山腹凹斜面 <input type="checkbox"/> 山腹平衡斜面 <input type="checkbox"/> 山腹侵蝕面 <input type="checkbox"/> 山脚堆積面 <input type="checkbox"/> 崖壁 <input type="checkbox"/> 扇状地 <input type="checkbox"/> 洪氾地 <input type="checkbox"/> 沖積堆積地 <input type="checkbox"/> 洪積段丘 <input type="checkbox"/> 台地 <input type="checkbox"/> 湿地 <input type="checkbox"/> 平坦地					

森林概況

林相	<input type="checkbox"/> 針葉樹林 <input type="checkbox"/> 広葉樹林 <input type="checkbox"/> 針広混交林(広葉樹多い、針葉樹多い、針広同程度) ※多いは材積歩合80%以上の状態とする。					
	階層区分	高木層	亜高木層	低木層		
	主要構成樹種 (複数可)					
	樹被率 ^注 (%)	%	%	%		
	樹高(m) ※複数	~	m	~	m	~
	胸高直径(cm) ※複数	~	cm	~	cm	~
最大樹高、胸高直径	最大樹高(樹種) /樹高(m)、最大胸高直径(樹種) /DBH(cm) ※小数点第1位まで表記					
保護対象種の 本数割合	<input type="checkbox"/> 80%以上 <input type="checkbox"/> 50~80% <input type="checkbox"/> 20~50% <input type="checkbox"/> 20%以下 <input type="checkbox"/> 保護対象種なし					
周辺環境(複数可)	<input type="checkbox"/> 天然林と隣接 <input type="checkbox"/> 人工林と隣接 <input type="checkbox"/> 草地と隣接 <input type="checkbox"/> 農地と隣接 <input type="checkbox"/> 林道等と隣接 <input type="checkbox"/> 沢と隣接					
気象害	□なし	□あり	<input type="checkbox"/> 風害(風倒、幹折れ等) <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 雪害(雪圧害、雪崩等) <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 低温害(霜害、凍裂等) <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <small>※被害立木割合 軽微(5%未満)、小(5~20%)、中(20~50%)、大(50%以上)</small>			
病虫害	□なし	□あり	一部位 : <input type="checkbox"/> 葉及び新梢部 <input type="checkbox"/> 枝及び幹 <input type="checkbox"/> 根 <input type="checkbox"/> その他() 一原因等 : <input type="checkbox"/> 松くい虫 <input type="checkbox"/> ナラ枯れ <input type="checkbox"/> シシトビ類 <input type="checkbox"/> その他()			
鳥獣類の痕跡 (主にプロット内)	□なし	□あり	<input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> ネズミ類 <input type="checkbox"/> ウサギ類 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> エゾシカ <input type="checkbox"/> 一 <input type="checkbox"/> エゾシカのみ下記に詳細を記録 <input type="checkbox"/> シカ道 <input type="checkbox"/> 足跡 <input type="checkbox"/> 糞 <input type="checkbox"/> 角研ぎ痕 <input type="checkbox"/> 食痕 <input type="checkbox"/> 骨・死体 <input type="checkbox"/> 個体の目撃または鳴声(頭) <input type="checkbox"/> その他() [樹木への痕跡] <input type="checkbox"/> 保護対象種への痕跡 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 角研ぎ痕 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 樹皮の食痕(剥皮) <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 頂芽の食痕 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 下層樹生の食痕 <input type="checkbox"/> 軽微 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 大 <small>※痕跡の割合 軽微(5%未満)、小(5~20%)、中(20~50%)、大(50%以上)</small>			

注) 樹被率: 単位面積当たりにおいて、樹生が各階層を占める面積の割合であり、目視観察により求める。 Ver. 20230309

森林概況調査票(R4版) その2

林床植生について		保護林No & プロットNo	
主要構成種	□ササ類 <input type="checkbox"/> 草本類 <input type="checkbox"/> 低木類 <input type="checkbox"/> 各種混在 <input type="checkbox"/> その他	植被率 (%)	% 林床植生高 ~ m
天更新状況	<input type="checkbox"/> 保護対象種 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 保護対象種以外 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 多量 <input type="checkbox"/> 普通にみられる <input type="checkbox"/> 少ない 一確認内容 : <input type="checkbox"/> 低木 <input type="checkbox"/> 幼木・稚樹 <input type="checkbox"/> 実生 <input type="checkbox"/> 萌芽・下枝 <input type="checkbox"/> 多量 <input type="checkbox"/> 普通にみられる <input type="checkbox"/> 少ない 一確認内容 : <input type="checkbox"/> 低木 <input type="checkbox"/> 幼木・稚樹 <input type="checkbox"/> 実生 <input type="checkbox"/> 萌芽・下枝	

写真撮影

項目 (撮影した時は写真Noを記入)	中心軌道線 撮影	北方方向 撮影	東方方向 撮影	南方方向 撮影
	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし
	西方方向 撮影	天頂 撮影	保護対象種 撮影	天更新 撮影
	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし
	気象害 撮影	亜高木層の状況	低木層の状況	林床植生
□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし
	動物の影響	全天球写真	その他()	その他()
□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし	□あり [] □なし

保護林の状況で気づいたこと(自由記述)

※保護林内の健全度、天更新、希少種、気象害・病虫害・獣類の痕跡等について、詳細を記述する。
 ※下記の項目について、留意することが望ましい。

- ・保護林の健全度
- ・保護対象種の生育状況
- ・天更新状況
- ・亜高木層、低木層の状況
- ・林床植生
- ・希少種や特徴的な樹種
- ・動物による影響(食痕、足跡や糞など)
- ・気象による攪乱等
- ・保護林内移動中に気づいたこと等

※その他、写真を複数取った場合(写真撮影の項に収まらない場合)は、この自由欄に写真内容とNoを記録しておくこと。 Ver. 20230309

1 保護林モニタリング調査について

保護林モニタリング調査方法

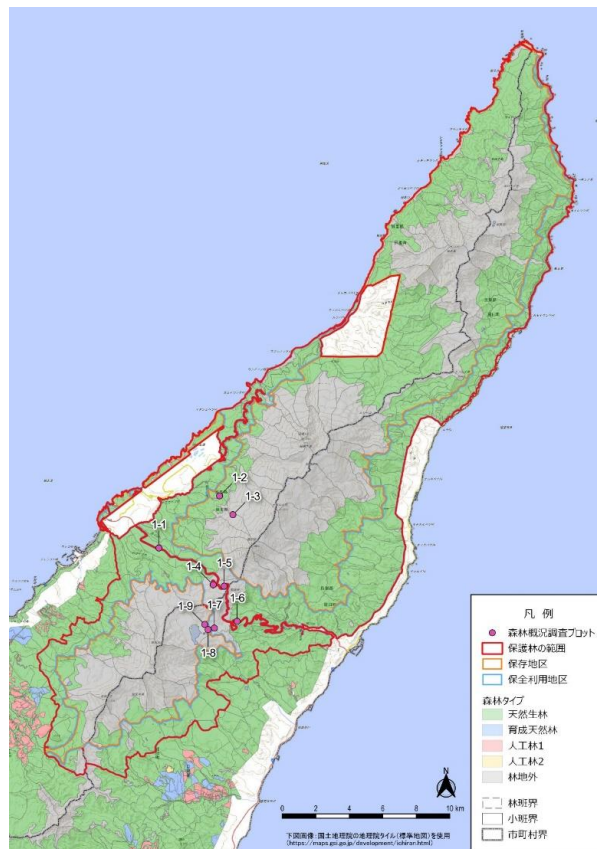
③資料調査

- ・保護林の森林タイプの分布等状況（人工林・天然林別など）や論文の発表状況等を整理する。
- ・森林生態系多様性基礎調査（林野庁が実施している全国的な森林）も対象保護林で実施されていれば、その結果も活用する。

森林タイプの分布等状況 取りまとめ例 →
(知床)

最新の森林簿データを利用し、GIS等を活用して、人工林及び天然林等の分布を表示。

その他、資料調査として、前回調査以降に行われた樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、森林への被害状況、保護林関連論文の発表状況等の情報を収集する。



2. 令和5年度モニタリング調査対象保護林

R5年度 調査対象保護林と調査項目

No	保護林名称	タイプ	管轄署	面積 (ha)	所在市町	モニタリング調査			森林生態系調査		No	保護林名称	タイプ	管轄署	面積 (ha)	所在市町	モニタリング調査			森林生態系調査		
						森林概況	森林詳細	その他調査	地点数	資料調査							森林概況	森林詳細	その他調査	地点数	資料調査	
1	知床森林生態系保護地域	森林生態系保護地域	網走南部 根釧東部	45,988.57	斜里町 羅臼町	5 4		聞き取り	5 12	○	21	旭エゾマツ遺伝資源	希少個体群保護林	網走中部	6.22	置戸町	2					
2	利尻島	生物群集保護林	宗谷	4,445.45	利尻町 利尻富士町		2		5	○	22	佐呂間ミズナラ遺伝資源	希少個体群保護林	網走中部	10.86	佐呂間町	2					
3	斜里岳		網走南部 根釧東部	2,353.43	斜里町 清里町 標津町				2 3	○	23	常呂モンゴリナラ遺伝資源		網走中部	18.25	北見市	2					
4	海別岳		網走南部 根釧東部	2,695.91	斜里町 標津町 羅臼町				2 2	○	24	置戸アカエゾマツ		網走中部	13.13	置戸町	2					
5	野付半島		根釧東部	301.39	別海町		2		2	○	25	斜里ダケカンバ遺伝資源		網走南部	6.00	斜里町	2					
6	前棚瑠エゾマツ遺伝資源		希少個体群保護林	上川北部	27.51	下川町	2					26		宇登呂キハダ遺伝資源	網走南部	5.50	斜里町		2			
7	然別アカエゾマツ遺伝資源	上川北部		20.00	下川町	2			1	○	27	宇登呂エゾマツ等遺伝資源		網走南部	10.79	斜里町	2					
8	風連トドマツ遺伝資源	上川北部		7.90	名寄市	2					28	宇登呂イテイ遺伝資源		網走南部	7.65	斜里町		2				
9	朝日オオバボダイジュ遺伝資源	上川北部		4.41	士別市		2				29	網走ハルニレ遺伝資源		網走南部	11.22	網走市	2					
10	朝日ウダイカンバ等遺伝資源	上川北部		15.86	士別市	2					30	青葉アカエゾマツ遺伝資源		網走南部	40.69	清里町	2					
11	上士別オオバボダイジュ遺伝資源	上川北部		9.81	士別市	2					31	宇登呂ミズナラ遺伝資源		網走南部	2.41	斜里町	2					
12	一ノ橋キハダ等遺伝資源	上川北部		28.37	下川町		4				32	相生ヤチダモ遺伝資源		網走南部	2.35	津別町	2					
13	佐呂間オオバボダイジュ等遺伝資源	網走中部		11.33	佐呂間町	2					33	藻琴山ミズナラ		網走南部	7.10	大空町	2					
14	佐呂間トドマツ遺伝資源	網走中部		39.79	佐呂間町	2					34	女満別湿性植生		網走南部	38.19	大空町		4	オンロフシ			
15	常元チョウセンカラマツ遺伝資源	網走中部		2.59	置戸町	2					35	美咲地区海岸砂丘林		網走南部	41.09	斜里町	2					
16	旭ケヤマハンノキ遺伝資源	網走中部	4.84	置戸町	2					36	木禽岳アカエゾマツ	網走南部		108.59	津別町	2						
17	温根湯イタヤカエデ等遺伝資源	網走中部	12.35	北見市	2					37	浜小清水ヤチダモ等	網走南部		57.28	小清水町	2						
18	端野ダケカンバ等遺伝資源	網走中部	57.53	北見市 佐呂間町	3																	
19	日吉ホオノキ等遺伝資源	網走中部	7.36	北見市	2																	
20	端野シラカンバ等遺伝資源	網走中部	8.53	北見市	2																	



No.	保護林名	保護林区分	No.	保護林名	保護林区分	No.	保護林名	保護林区分
1	知床	森林生態系保護地域	6	前珊瑚エゾマツ遺伝資源	希少個体群保護林	22	佐呂間ミズナラ遺伝資源	希少個体群保護林
2	利尻島	生物群集保護林	7	然別アカエゾマツ遺伝資源	希少個体群保護林	23	常呂モンゴリナラ遺伝資源	希少個体群保護林
3	斜里岳	生物群集保護林	8	風連トドマツ遺伝資源	希少個体群保護林	24	置戸アカエゾマツ	希少個体群保護林
4	海別岳	生物群集保護林	9	朝日オオバポダイジユ遺伝資源	希少個体群保護林	25	斜里ダケカンバ遺伝資源	希少個体群保護林
5	野付半島	生物群集保護林	10	朝日ウダイカンバ等遺伝資源	希少個体群保護林	26	宇登呂キハダ遺伝資源	希少個体群保護林
			11	上土別オオバポダイジユ遺伝資源	希少個体群保護林	27	宇登呂エゾマツ等遺伝資源	希少個体群保護林
			12	一ノ橋キハダ等遺伝資源	希少個体群保護林	28	宇登呂イチイ遺伝資源	希少個体群保護林
			13	佐呂間オオバポダイジユ等遺伝資源	希少個体群保護林	29	網走ハルニレ遺伝資源	希少個体群保護林
			14	佐呂間トドマツ遺伝資源	希少個体群保護林	30	青葉アカエゾマツ遺伝資源	希少個体群保護林
			15	常元チョウウセンカラマツ遺伝資源	希少個体群保護林	31	宇登呂ミズナラ遺伝資源	希少個体群保護林
			16	旭ケヤマハンノキ遺伝資源	希少個体群保護林	32	相生ヤチダモ遺伝資源	希少個体群保護林
			17	温根湯イタヤカエデ等遺伝資源	希少個体群保護林	33	藻琴山ミズナラ	希少個体群保護林
			18	端野ダケカンバ等遺伝資源	希少個体群保護林	34	女満別湿性植生	希少個体群保護林
			19	日吉ホオノキ等遺伝資源	希少個体群保護林	35	美咲地区海岸砂丘林	希少個体群保護林
			20	端野シラカンバ等遺伝資源	希少個体群保護林	36	木岳アカエゾマツ	希少個体群保護林
			21	旭エゾマツ遺伝資源	希少個体群保護林	37	浜小清水ヤチダモ等	希少個体群保護林

調査対象保護林の位置

下図画像: 国土地理院の地理院タイル(淡色地図)を使用 (<https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/std/{z}/{x}/{y}.png>)

3. モニタリング調査結果報告

3-1. 森林生態系保護地域

3-1.森林生態系保護地域（1箇所）

保護林名(面積)	10001 知床森林生態系保護地域（45,988.57ha）
保護対象	知床半島の海岸線から高山帯までみられる地形に成立する大規模で原生的な森林群落。 北方系と南方系の動植物が連続的かつ複雑に存在している。
前回保護林調査	H30
今回の調査方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料調査 ・保護林森林概況調査（9箇所） ・森林生態系多様性基礎調査（13箇所） ・聞き取り調査
調査林分の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・下部樹林帯はダケカンバ、ミズナラ、トドマツ等を優占樹種とし、エゾイタヤ等が混生している林分である。 （プロット1-1、1-2、1-6が下部樹林帯にあたる。） 一部で風倒木がみられるところがあるが規模は小さく、天然更新も認められた。 ・上部樹林帯はダケカンバの亜高木～低木が優占し、下層にハイマツ等が生育している林分である。 （プロット1-3～5、1-7～9が下部樹林帯にあたる。） これらの調査地点では大きな変化はなかった。 ・森林生態系多様性基礎調査の調査地点では、いずれの地点も高木層の植被率は比較的安定しており、 植生として大きな変化はなく、おおむね良好な状態を保っているといえた。 ・一部にササ枯死が発生していた。
調査周期	5年ごと
評価・課題・対応(案)	<p>確認された影響[概ねなし]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本保護林では、下部樹林帯、上部樹林帯ともに良好な状態が確認され、おおむね良好に保護・管理されている。 ・巡視等によりエゾシカの影響や気象害、風倒箇所に留意しつつ、引き続きモニタリングにより経過を観察していく。

1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査

保護林森林概況調査(9箇所)、森林生態系多様性基礎調査(13箇所)

海岸線から高山帯までみられる地形に成立する大規模で原生的な森林群落



上部樹林帯と羅臼岳 2023.6.21



上部樹林帯と下部樹林帯
2023.6.21 (羅臼岳登山道より撮影)

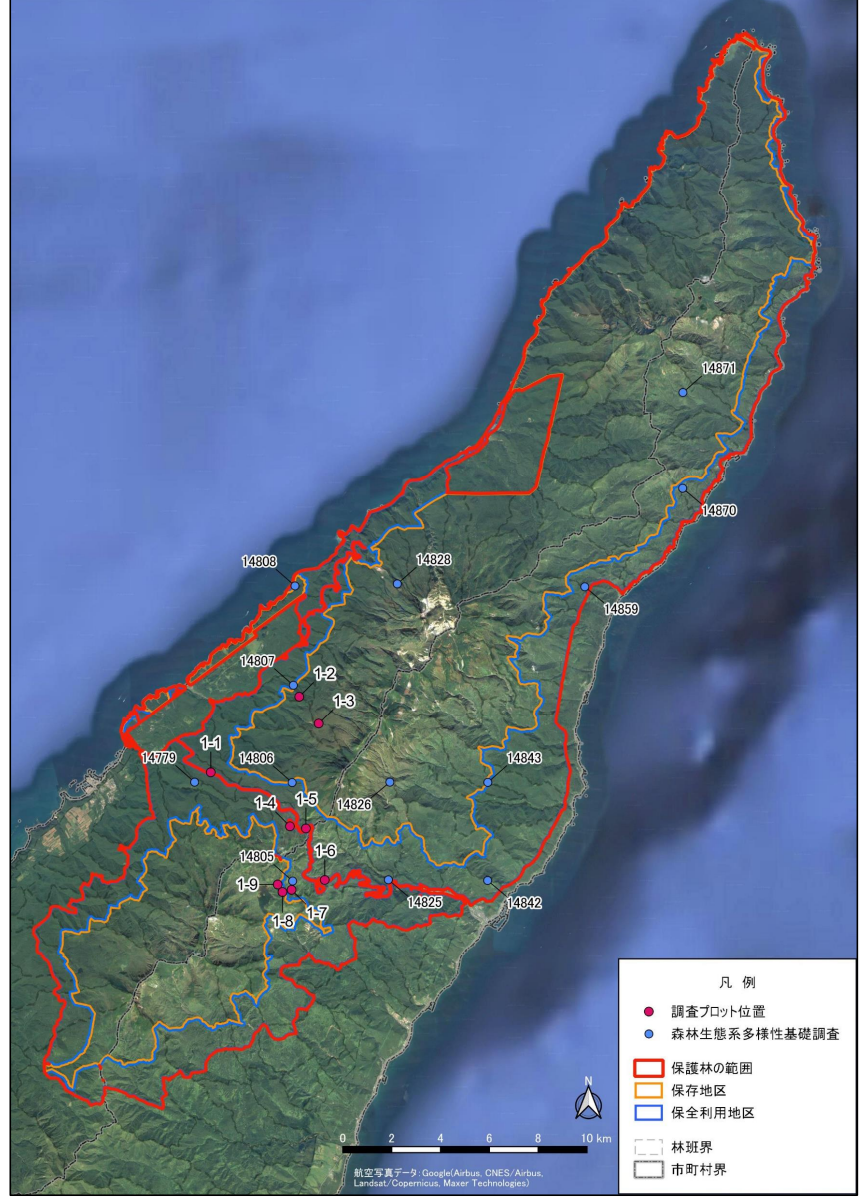
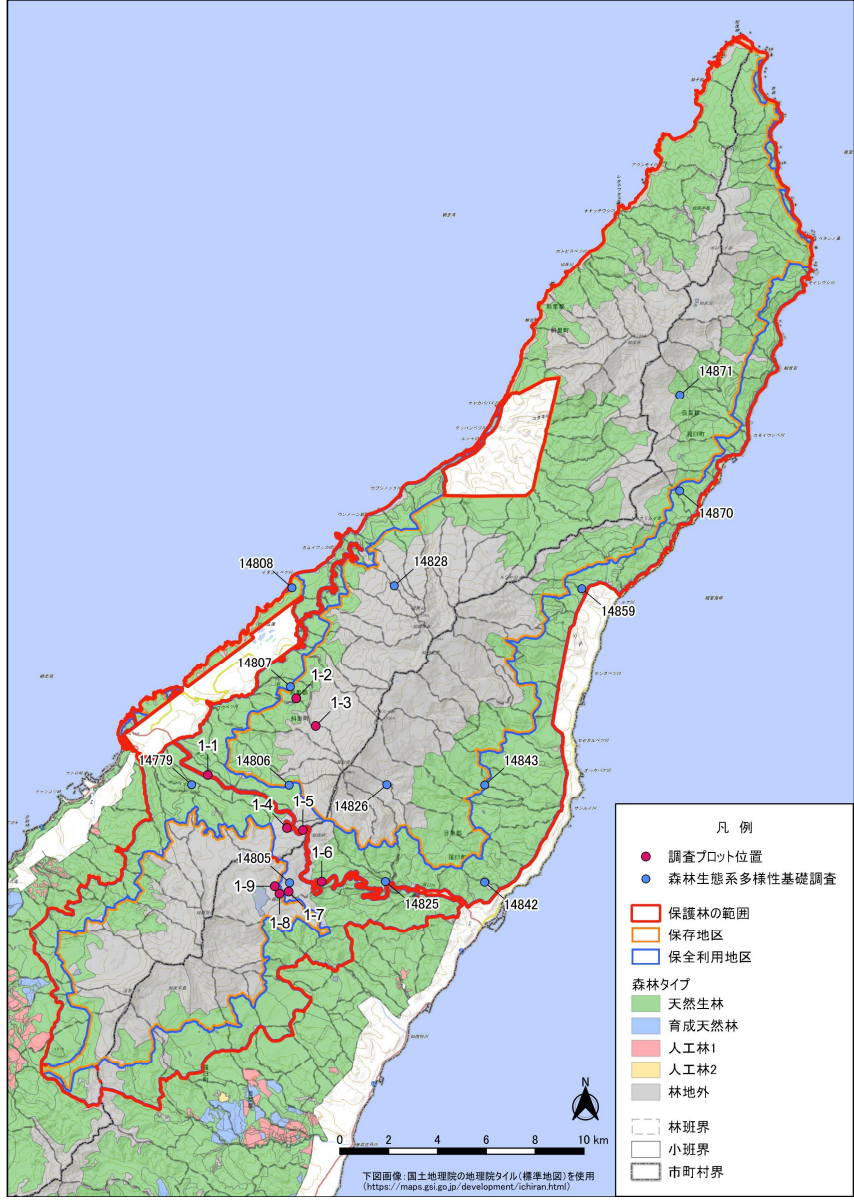


上部樹林帯と羅臼湖 2023.6.20

1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査

保護林森林概況調査(9箇所)、森林生態系多様性基礎調査(13箇所)



1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査

下部樹林帯 保護林森林概況調査(3箇所)

プロットNo.1-1

プロットNo.1-2

プロットNo.1-6

	H30	R5	H30	R5	H30	R5
磁北方向						
磁東方向	写真なし		写真なし		写真なし	
磁南方向						
磁西方向	写真なし		写真なし		写真なし	
天頂						

1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査 下部樹林帯 保護林森林概況調査(3箇所)

保護林名		知床森林生態系保護地域							
プロットNo.		1-1		1-2		1-6			
旧No.		10001-1		10001-5		10001-7			
調査日		2018/8/9		2023/6/19		2018/8/10		2023/6/20	
プロット情報		標高		382m		579m		615m	
斜面方位、傾斜(平均)		SW 0°		NW 35°		N 7°			
局所地形		平坦地		山腹平衡斜面		山腹平衡斜面			
林分状況	【高】主要構成樹種	ダケカンバ、トドマツ	ダケカンバ、トドマツ	ミズナラ	ミズナラ	トドマツ	トドマツ、ダケカンバ		
	【高】樹高	10~20m	10~19m	10~20m	10~13m	5~8m	10~14m		
	【高】植被率	-	-	80%	-	-	40%		
	【高】DBH	30cm以上	15~77cm	30cm以上	20~74cm	10~37cm	20~46cm		
	【垂】主要構成樹種	イタヤカエデ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	エゾイタヤ	ダケカンバ	ダケカンバ		
	【垂】樹高	5~10m	6~9m	5~10m	7~9m	5~10m	6~9m		
	【垂】植被率	-	20%	-	40%	-	20%		
	【垂】DBH	10~20cm	14~17cm	10~20cm	10~18cm	10~20cm	10~18cm		
	【低】主要構成樹種	トドマツ	トドマツ	エゾイタヤ、アズキナシ	エゾイタヤ	トドマツ、ミヤマハノキ	トドマツ		
	【低】樹高	1~5m	3~4m	1~5m	2~5m	1~5m	3~4m		
【低】植被率	-	10%	-	30%	-	10%			
【低】DBH	5cm未満	5~8cm	5~10cm	4~7cm	5cm未満	4~6cm			
最大樹高樹種	トドマツ	トドマツ	ミズナラ	ミズナラ	ダケカンバ	トドマツ			
樹高	19.0m	19.0m	15.2m	13.5m	8.2m	14.0m			
最大直径樹種	ダケカンバ	ダケカンバ	ミズナラ	ミズナラ	ダケカンバ	トドマツ			
直径	74.1cm	76.8cm	73.2cm	73.5cm	36.4cm	46.0cm			
気象害	-	-	-	-	-	-			
病虫害	-	-	-	-	-	-			
気象害等のコメント	-	-	-	-	-	-			
鳥獣類痕跡	エゾシカ痕跡	-	食痕	-	食痕	食痕	食痕		
	その他痕跡	-	-	-	-	-	ウサギ類		
	痕跡の割合	-	軽微	-	軽微	-	軽微		
	痕跡のコメント	-	シカのササ食痕わずかにあり	-	シカのササ食痕わずかにあり	-	-		
林床植生	主要構成種(主体は80%以上)	ササ類主体	ササ類主体	各種混在	各種混在	ササ類主体	ササ類主体		
	優占する植物種	チシマザサ	チシマザサ	クマイザサ、ツタウルシ	チシマザサ、ツタウルシ	クマイザサ	クマイザサ		
	植被率	100%	70%	95%	80%	100%	100%		
	植生高	-	0.1~2.4m	-	0.1~1.2m	-	0.1~1.6m		
天然更新状況	-	普通にみられる	-	普通に見られる	-	普通に見られる			
保護林の状況	記載なし	ダケカンバ、トドマツが優占する。概ね健全な林分である。チシマザサの枯れが目立ち、シカ食痕も少数見られるが、林分への影響は少ない。	記載なし	ミズナラ、エゾイタヤが優占し、天然更新は順調に行われている。	記載なし	古い風倒木や衰弱木が見られるが、林床に光が入り下層植生の生長が見られる。			
林分等の状況	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない			
評価・課題等確認された影響	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]			
ア:野生鳥獣 イ:病虫害 ウ:外来種 エ:温暖化 オ:自然撓乱 カ:その他 -:特になし	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う			



下部樹林帯の状況(プロット 1-1)
高木層の様子



下部樹林帯の状況(プロット 1-2)
安定した樹林が生育している



下部樹林帯の状況(プロット 1-6)
針葉樹の大径木



知床半島の下部樹林帯
(羅臼岳登山道より撮影)

確認された影響[特になし]

- 下部樹林帯にはダケカンバ、ミズナラ、トドマツ等を優占樹種とし、エゾイタヤ等が混生している林分が成立している。
- 各調査地点で植生の大きな変化はみられず、一部で風倒木がみられた地点もあるが、被害の規模は小さく、おおむね良好な状態が確認された。良好に保護・管理されている。

1 知床森林生態系保護地域



ID14779 磁北方向



ID14806 磁北方向



ID14843 磁北方向



ID14859 磁北方向



ID14807 磁北方向



ID14808 磁北方向



ID14870 磁北方向



ID14871 磁北方向



ID14825 磁北方向



ID14842 磁北方向

- ・ほぼ全ての地点がダケカンバ、トドマツ、ミズナラが優占している針広混交林であった。
- ・気象害もほぼ確認されておらず、この傾向は本保護林の調査地点と同様であった。
- ・クマイザサが優占している地点がほとんどであった。
- ・植生として大きな変化はなく概ね良好な状態を保っている。

樹林帯	ID	優占種	発達段階		高木層		亜高木層		施業形跡	被害情報等
					高さ(m)	植被率	高さ(m)	植被率		
下部	14779	ミズナラ	天然更新	成熟	15	70%	5	30%	なし	なし
	14806	トドマツ	天然更新	成熟	10	70%	6	20%	なし	なし
	14807	ミズナラ	天然更新	成熟	16	70%	6	40%	なし	なし
	14808	エゾイタヤ	天然更新	成熟	9	80%	6	20%	なし	なし
	14825	トドマツ、アカイタヤ	天然更新	成熟	14	50%	8	30%	なし	なし
	14842	ダケカンバ	天然更新	成熟	8	60%	5	20%	なし	なし
	14843	ミズナラ	天然更新	成熟	14	70%	8	40%	なし	なし
	14859	トドマツ	天然更新	成熟	8	80%	6	30%	なし	林分1、なし
		ダケカンバ	天然更新	成熟	9	30%			なし	林分2、なし
	14870	トドマツ、ダケカンバ	天然更新	成熟	10	70%	5	50%	なし	なし
14871	ダケカンバ	天然更新	成熟	9	50%	8	30%	なし	なし	

1 知床森林生態系保護地域











実施した現地調査

保護林森林概況調査(6箇所) 上部樹林帯

プロットNo.1-3

プロットNo.1-4

プロットNo.1-5

	プロットNo.1-3		プロットNo.1-4		プロットNo.1-5	
	H30	R5	H30	R5	H30	R5
磁北方向						
磁東方向	写真なし		写真なし		写真なし	
磁南方向						
磁西方向	写真なし		写真なし		写真なし	
天頂						

1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査

保護林森林概況調査(6箇所) 上部樹林帯

プロットNo.1-7

プロットNo.1-8

プロットNo.1-9

	プロットNo.1-7		プロットNo.1-8		プロットNo.1-9	
	H30	R5	H30	R5	H30	R5
磁北方向						
磁東方向	写真なし		写真なし		写真なし	
磁南方向						
磁西方向	写真なし		写真なし		写真なし	
天頂						

1 知床森林生態系保護地域

実施した現地調査

保護林森林概況調査(6箇所) 上部樹林帯

保護林名	知床森林生態系保護地域												
	1-3		1-4		1-5		1-7		1-8		1-9		
プロットNo.	10001-4		10001-2		10001-3		10001-6		10001-9		10001-8		
旧No.	10001-4		10001-2		10001-3		10001-6		10001-9		10001-8		
調査日	2018/9/21		2023/6/21		2018/8/10		2023/6/21		2018/8/10		2023/6/20		
プロット情報	標高	829m		687m		717m		735m		757m		755m	
	斜面方位、傾斜(平均)	NW 3°		NE 10°		SW 2°		S 8°		NE 7°		SW 15°	
	局所地形	平坦地		平坦尾根		平坦尾根		山腹凹斜面		山腹凹斜面		山腹平衡斜面	
林分状況	【高】主要構成樹種	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	なし	なし	ダケカンバ	ダケカンバ	なし	なし	ダケカンバ	ダケカンバ
	【高】樹高	10m未満	6~10m	10m未満	7~12m	-	-	10m未満	6~10m	-	-	10~20m	5~13m
	【高】植被率	-	80%	-	80%	-	0%	-	50%	-	0%	-	60%
	【高】DBH	30cm以上	10~38cm	20~30cm	18~41cm	-	-	20~30cm	10~45cm	-	-	30cm以上	6~61cm
	【中】主要構成樹種	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	【中】樹高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【中】植被率	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%	-	0%
	【中】DBH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【低】主要構成樹種	ナナカマド、ミヤマハンノキ	ウラジロナナカマド	ナナカマド	ナナカマド	ハイマツ	ハイマツ	ナナカマド	ダケカンバ	ハイマツ	ハイマツ	ダケカンバ、ハイマツ	ダケカンバ、ハイマツ
	【低】樹高	1~5m	1.5~3m	1~5m	3~4m	1~5m	3~5m	1~5m	2~3m	1~5m	3~6m	2~4m	2~4m
【低】植被率	-	60%	-	10%	-	100%	-	10%	-	40%	-	10%	
【低】DBH	5~10cm	1.5~10cm	5~10cm	5~8cm	5~10cm	2~14cm	5~10cm	4~7cm	5~10cm	2~14cm	5~10cm	2~5cm	
最大樹高樹種	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ハイマツ	ダケカンバ	ダケカンバ	ハイマツ	ハイマツ	ナナカマド	ダケカンバ	
樹高	8.2m	10m	11.5m	12.0m	-	5.0m	11.5m	10.0m	6.0m	4.9m	18.8m	13.0m	
最大直径樹種	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ダケカンバ	ハイマツ	ダケカンバ	ダケカンバ	ハイマツ	ハイマツ	ダケカンバ	トドマツ	
直径	36.4cm	37.8cm	39.8cm	40.5cm	-	14.0cm	39.8cm	43.0cm	12.7cm	13.0cm	63.7cm	61.0cm	
気象害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
病虫害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
気象害等のコメント	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥獣類痕跡	エゾシカ痕跡	シカ道、糞	シカ道、食痕	-	食痕	-	食痕	-	-	-	食痕	-	
	その他痕跡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	痕跡の割合	-	軽微	-	軽微	-	軽微	-	-	-	-	-	
	痕跡のコメント	プロット内にシカ糞あり	シカのササ食痕わずかにあり	-	-	-	-	-	-	-	シカのササ食痕わずかにあり	-	
林床植生	主要構成種(主体は80%以上)	草本類主体	草本類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	
	優占する植物種	シラネウラボ	シラネウラボ、クコンウツギ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	クマイザサ	
	植被率	35%	80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	植生高	-	0.1~1.5m	-	0.1~1.4m	-	0.1~1.3m	-	0.1~2.0m	-	0.1~1.8m	-	0.1~1.9m
	天然更新状況	-	普通に見られる	-	少ない	-	少ない	-	なし	-	普通	-	少ない
保護林の状況	記載なし	ダケカンバは高山帯らしく根曲がり、斜立、湾曲している。シカの食痕が少数見られるものの、下層植生は豊富である。	記載なし	ダケカンバの天然更新は見られないが、立木の生育は健全である。	記載なし	高山帯のハイマツ群落。ハイマツの生育は健全である。	記載なし	天然更新は見られないが、立木の生育は健全である。	記載なし	高山帯のハイマツ群落。ハイマツの生育は健全である。	記載なし	高山帯のダケカンバ、ハイマツ群落。健全な状態を維持している。	
	記載なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
林分等の状況	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	
評価・課題等確認された影響	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	
	ア:野生鳥獣 イ:病虫害 ウ:外来種 エ:温暖化 オ:自然攪乱 カ:その他 ク:特になし	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う



樹林帯の状況(プロット1-3)
ダケカンバ亜高木林



樹林帯の状況(プロット1-5)
ハイマツ群落



樹林帯の状況(プロット1-8周辺)
ハイマツ群落とササ群落



上部樹林帯と羅臼湖



上部樹林帯と羅臼岳



上部樹林帯と下部樹林帯
(羅臼岳登山道より撮影)

確認された影響[特になし]

- ・上部樹林帯はダケカンバの亜高木～低木が優占し、下層にハイマツ等が生育している林分である。
- ・上部樹林帯においては風雪厳しい地域であり大径木は育ちにくい環境であるが、亜高木、低木層で確認される生立木はおおむね健全な状態であった。
- ・林床ではササが密生しているが、ほとんどの調査箇所ですべて天然更新が確認され、このことから比較的健全であり、更新も期待できる林分であるといえる。
- ・良好に保護・管理されている。



ID14805 磁北方向



ID14826 磁北方向



ID14828 磁北方向

樹林帯	ID	優占種	発達段階	高木層		亜高木層		施業形跡	被害情報等
				高さ(m)	植被率	高さ(m)	植被率		
上部	14805	ダケカンバ	天然更新 成熟	6 ~ 8	60%	4 ~ 6	20%	なし	気象害等
	14826	ダケカンバ	天然更新 成熟	9 ~ 11	30%	5 ~ 8	60%	なし	なし
	14828	ハイマツ	天然更新 成熟	4 ~ 6	10%	2 ~ 4	80%	なし	なし

- ・ダケカンバあるいはハイマツが優占している低木林であった。
- ・知床半島の上部樹林帯では、このような林況の樹林が広い面積で成立している。
- ・ササが優占している地点がほとんどであった。
- ・植生として大きな変化はなく概ね良好な状態を保っている。

1 知床森林生態系保護地域

聞き取り調査

聞き取り機関	項目	内容	事業年度
環境省ウトロ自然保護管事務所	野生鳥獣の保護管理	知床生態系維持回復事業として、エゾシカの個体数調整を行っている。	H9～
		シマフクロウ保護増殖事業として、巣箱の設置や標識調査等を実施している。	H17～
	外来種対策	関係者合同でアメリカオニアザミ及びクレソンの除去作業を実施している。	H20～
	管理体制	月5回程度、国立公園内及び国指定鳥獣保護区の巡視を実施している。主な巡視点は自然公園法の許認可の確認や直轄施設の管理であるが、違反案件や道の崩壊を発見した場合は林野庁にも情報共有している。	常時
	普及・啓発	知床国立公園60周年記念事業（2024年）、知床世界自然遺産登録20周年事業（2025年）において、知床の価値や保全の意義を再認識するとともに、その魅力を広く発信することを目的にイベントを連続的に実施予定。	R6～ R7
		ふれあい事業として、知床国立公園に関する講演を実施している。講師、テーマによって保護林にかかわる年度もある。	適宜
その他	近自然工法による登山道整備を、関係行政機関や地域関係者を対象にイベントとして実施している。	R3～	

1 知床森林生態系保護地域

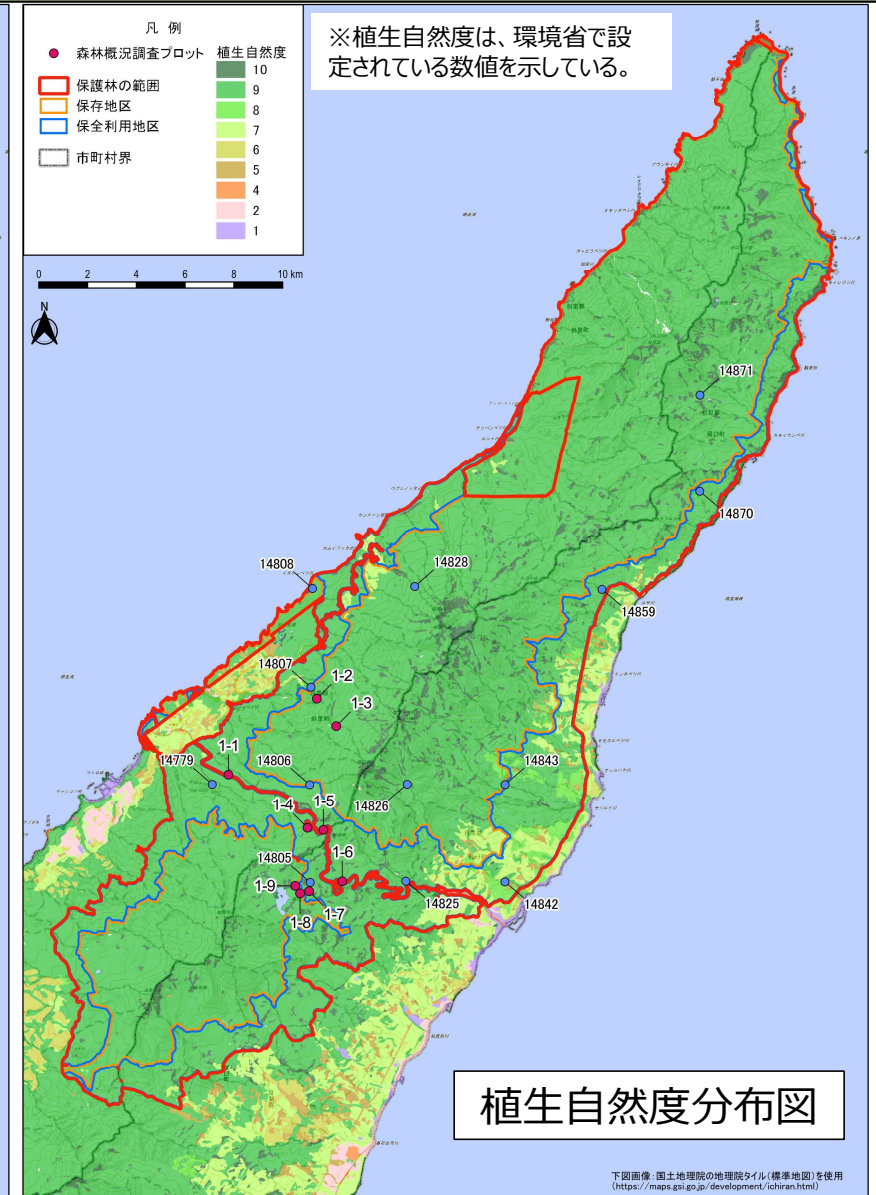
実施した現地調査

保護林森林概況調査(9箇所)、森林生態系多様性基礎調査(13箇所)

全体評価

・保護地域の約96%が自然度8以上の植生であり、保護地域のほとんどの範囲を占めている。

・保護林は概ね良好に保護・管理されている。



3. モニタリング調査結果報告

3-2.生物群集保護林（4箇所）

3-2.生物群集保護林（4箇所）

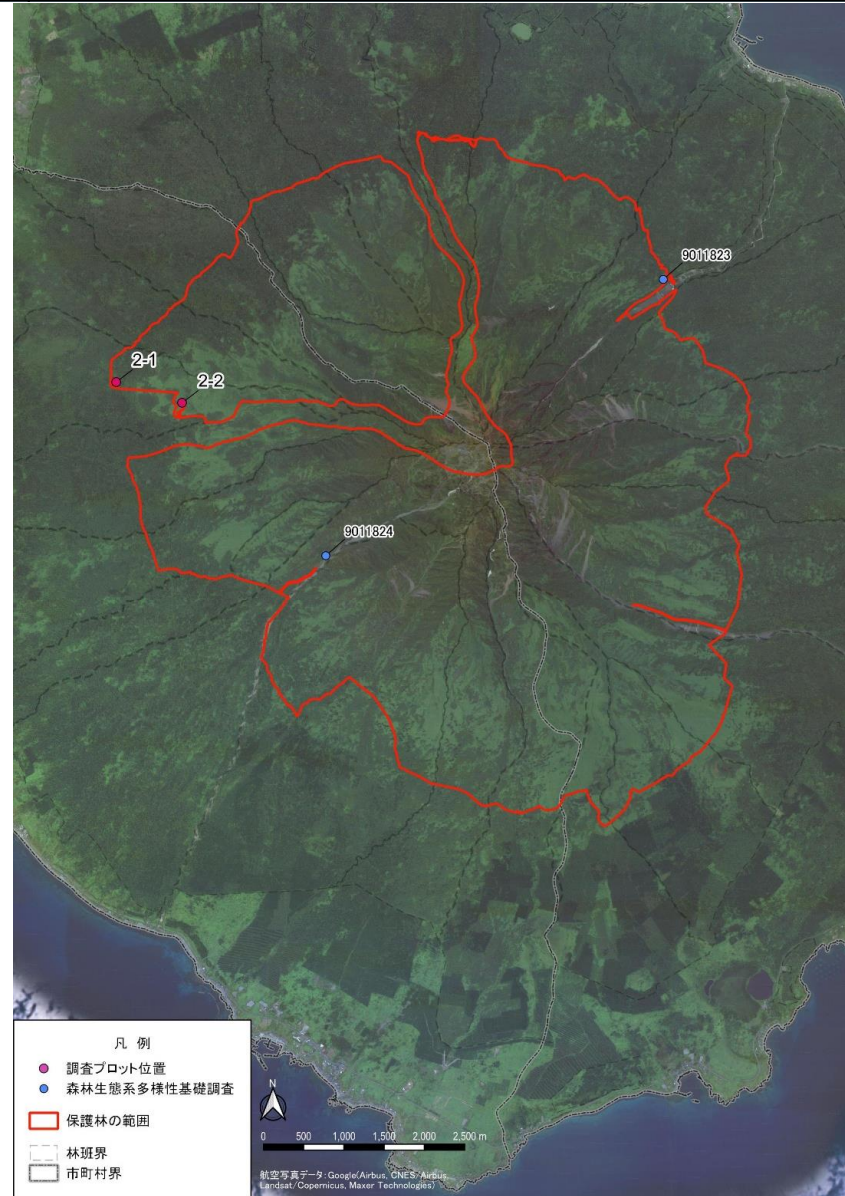
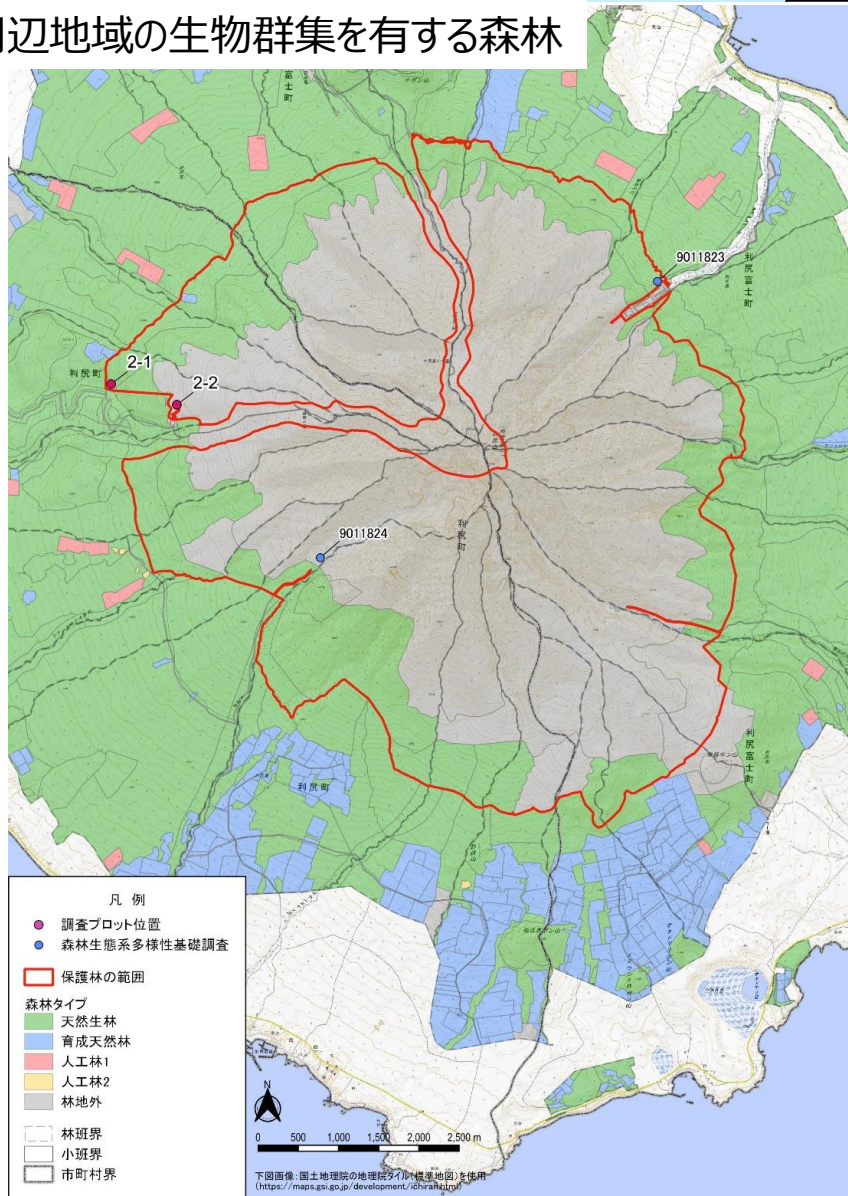
No	保護林ID	保護林名 (面積)	保護対象	前回調査	今回の調査方法等	調査林分の状況等	調査周期	評価・課題・対応(案)
2	20006	利尻島 生物群集保護林 (4,445.45ha)	利尻山周辺地域の 生物群集を有する 森林	H30	・資料調査 ・保護林森林詳細調査 (2箇所) ・森林生態系 多様性基礎調査 (2箇所)	・生立木はおおむね健全な状態であった。 ・林床ではササが密生しているが、ほとんどの調査箇所 で天然更新が確認された。 ・比較的健全であり、更新も期待出来る林分である。	5年	確認された影響[特になし] ・本保護林は健全な状態が確認された。 概ね良好に保護・管理されているといえる。 ・引き続きモニタリングにより経過を観察 していく。
3	20010	斜里岳 生物群集保護林 (2,353.43ha)	斜里岳周辺地域の 生物群集を有する 森林	-	・資料調査 ・森林生態系 多様性基礎調査 (5箇所)	・各地点の林分の発達段階により植生に大きな変化は ないと考えられる。	5年	確認された影響[特になし] ・引き続きモニタリングにより経過を観察 していく。
4	20011	海別岳 生物群集保護林 (2,695.91ha)	海別岳周辺地域の 生物群集を有する 森林	-	・資料調査 ・森林生態系 多様性基礎調査 (2箇所)	・調査結果は北海道の典型的な高山帯の特徴を示して おり、林相に大きな変化はないと考えられる。	5年	確認された影響[特になし] ・本保護林は健全な状態が確認された。 概ね良好に保護・管理されているといえる。 ・引き続きモニタリングにより経過を観察 していく。
5	20014	野付半島 生物群集保護林 (301.39ha)	野付半島・野付湾 周辺地域の生物群 集を有する森林	H30	・資料調査 ・保護林森林詳細調査 (2箇所) ・森林生態系 多様性基礎調査 (2箇所)	・半島の先端部では草本類に多少の変化はあるが、概 ね前回調査時と同様の環境が保たれている。 ・半島中心部の樹林は、健全な状態が確認された。	5年	確認された影響[特になし] ・本保護林は健全な状態が確認された。 概ね良好に保護・管理されているといえる。 ・引き続きモニタリングにより経過を観察 していく。

2 利尻島生物群集保護林

実施した現地調査

保護林森林詳細調査(2箇所)、森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

利尻山周辺地域の生物群集を有する森林



2 利尻島生物群集保護林

実施した現地調査

保護林森林詳細調査(2箇所)

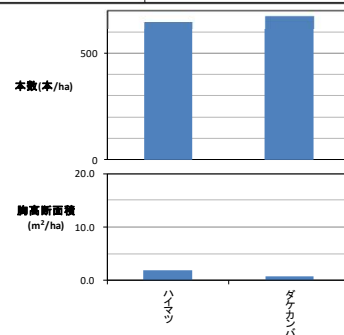
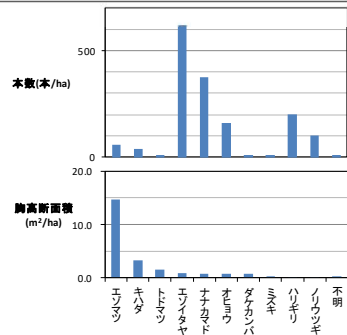
プロットNo.2-1

項目	H30	R5	比較結果等
磁北方向			大きな変化はない。
磁東方向	写真なし		大きな変化はない。
磁南方向			大きな変化はない。
磁西方向	写真なし		大きな変化はない。
天頂			大きな変化はない。

プロットNo.2-2

項目	H30	R5	比較結果等
磁北方向			大きな変化はない。
磁東方向	写真なし		大きな変化はない。
磁南方向			大きな変化はない。
磁西方向	写真なし		大きな変化はない。
天頂			大きな変化はない。

保護林名	利尻島生物群集保護林				
プロットNo.	2-1		2-2		
IDNo.	20006-1		20006-2		
調査日	2018/7/26	2023/8/9	2018/7/26	2023/8/9	
プロット情報	標高	290m	490m		
	斜面方位、傾斜(平均)	SW 20°		W 16°	
	局所地形	山腹平衡斜面		山腹平衡斜面	
林分状況	【高】主要構成樹種	トドマツ、エゾマツ	エゾマツ、トドマツ	なし	なし
	【高】樹高	20m以上	17~26m	-	-
	【高】樹高	-	40%	-	0%
	【高】DBH	30cm以上	35~87cm	-	-
	【中】主要構成樹種	キハダ、ナナカマド	キハダ、ナナカマド	なし	なし
	【中】樹高	5~10m	8~16m	-	-
	【中】樹高	-	40%	-	0%
	【中】DBH	10~20cm	13~19cm	-	-
	【低】主要構成樹種	エゾイタヤ、ナナカマド	ナナカマド	ダケカンバ、ナナカマド	ダケカンバ、ハイマツ
	【低】樹高	1~5m	3~6m	5m以下	1~4m
【低】樹高	-	20%	-	100%	
【低】DBH	5cm未満	4~7cm	10cm未満	2~10cm	
最大樹高樹種	-	エゾマツ	-	ハイマツ	
樹高	-	25.7m	-	4.1m	
最大直径樹種	-	エゾマツ	-	ハイマツ	
直径	-	80.1cm	-	10.1cm	
気象害	風害(軽微)	風害(軽微)	-	-	
病虫害	-	-	-	-	
気象害等のコメント	風倒木はあるが古い	幹折れ木わずかにあり	-	-	
鳥獣類痕跡	エゾシカ痕跡	-	-	-	
	その他痕跡	-	-	-	
	痕跡の程度	-	-	-	
痕跡のコメント	-	-	-	-	
林床植生	主要構成種 (主体は80%以上)	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体	ササ類主体
	優占する植物種	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ	チシマザサ、シラネウラボ
	植生率	密生	80%	密生	100%
	植生高	0.5~1.5m	0.4~2.1m	1.5m以上	0.1~2.2m
	天然更新状況	普通	普通	普通	少ない
保護林の状況	トドマツ、エゾマツが優占する。	エゾマツ、トドマツが優占する。健全な林分である。	ダケカンバの低木林。チシマザサが密生している。	ダケカンバの低木林。チシマザサが密生している。	
	林分等の状況	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない
評価・課題等確認された影響	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	
	ア:野生鳥獣 イ:病虫害 ウ:外来種 エ:温暖化 オ:自然攪乱 カ:その他 -:特になし	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う
林況写真					



2 利尻島生物群集保護林

実施した現地調査

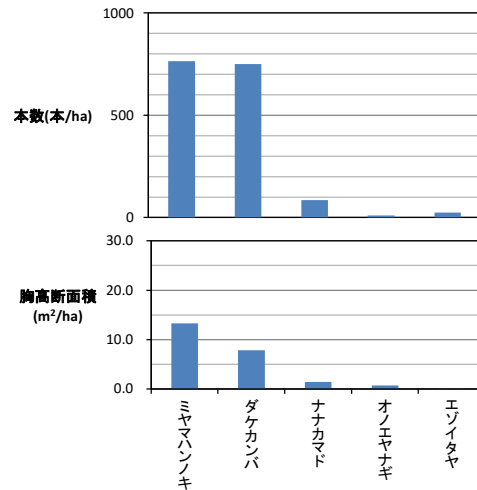
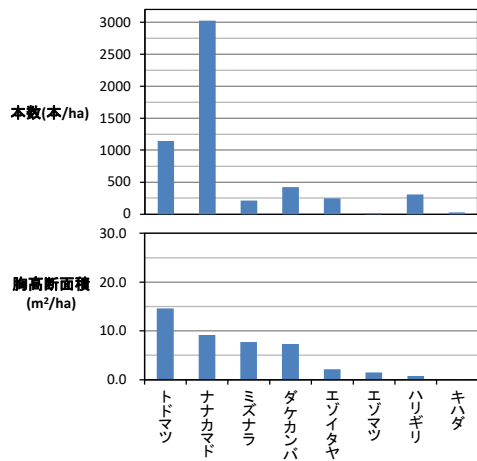
森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

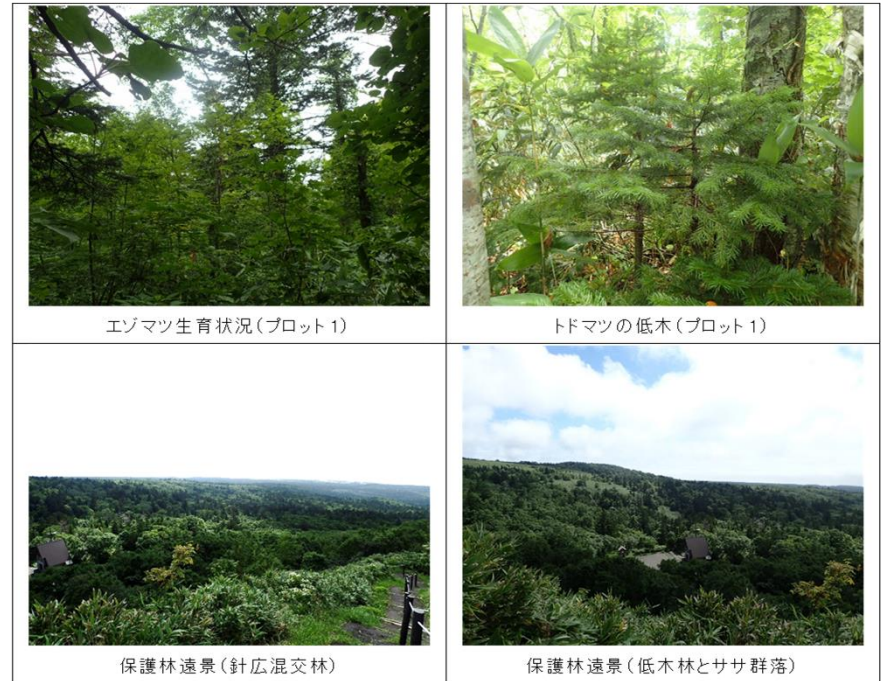


ID9011823 磁北方向

ID9011824 磁北方向



格子点ID	植生調査区	低木層			草本層		
		高さ(m)	植被率	優占種	高さ(m)	植被率	優占種
9011823	N	2.5 ~ 4.5	10	タラノキ	0.1 ~ 2.2	90	チシマザサ
	S	2 ~ 6	40	ナナカマド	0.1 ~ 1.8	100	チシマザサ
9011824	N	-	-	-	0.1 ~ 2.2	100	ヤマドリゼンマイ
	S	1.6 ~ 2.2	20	ダケカンバ	0.1 ~ 1.6	100	オニシモツケ



エゾマツ生育状況(プロット1)

トドマツの低木(プロット1)

保護林遠景(針広混交林)

保護林遠景(低木林とササ群落)

確認された影響[特になし]

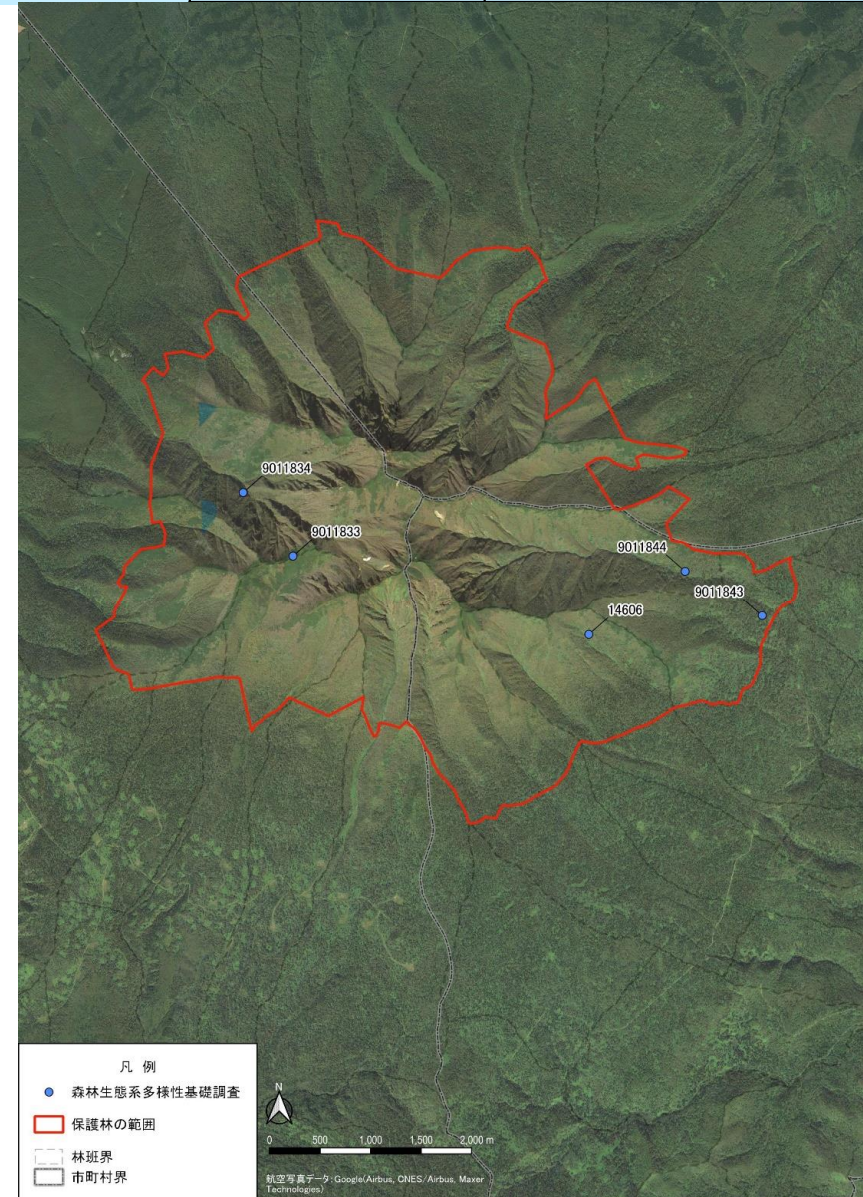
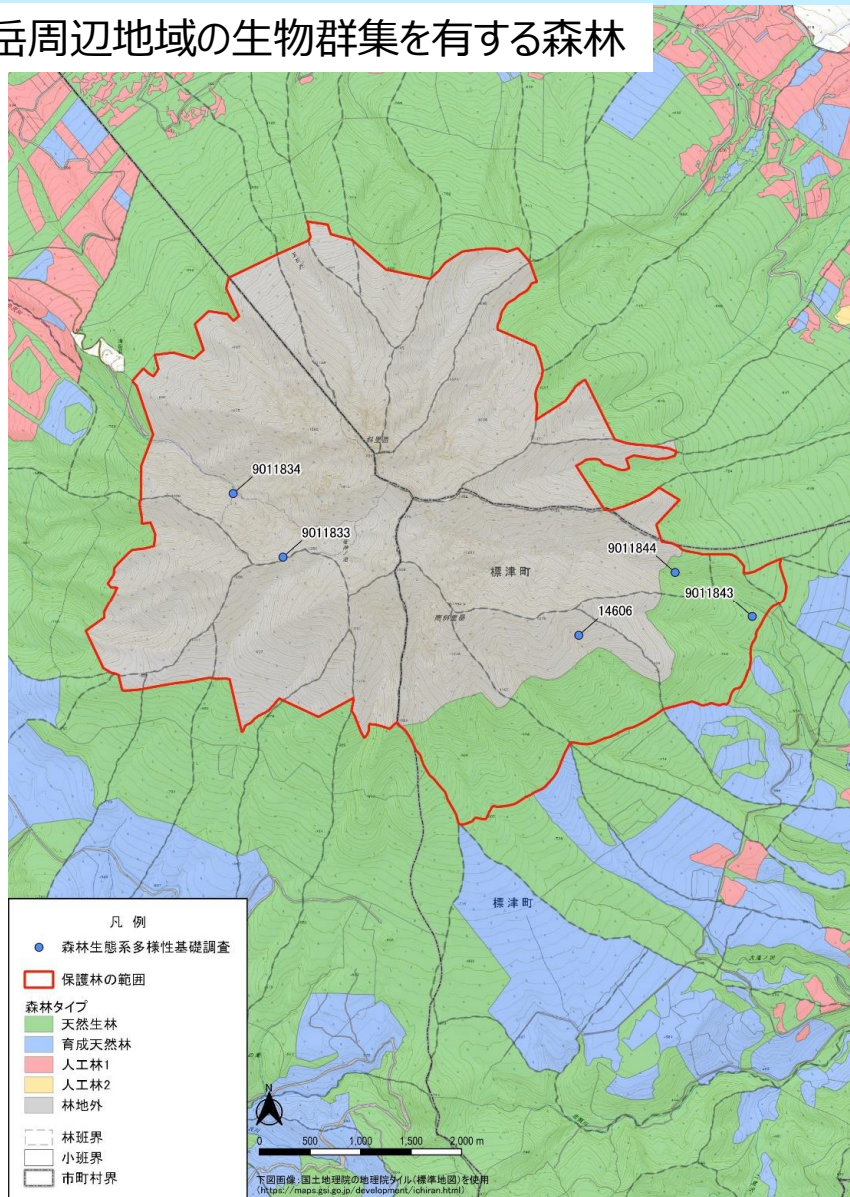
- ・確認された生立木はおおむね健全な状態であった。また、林床ではササが密生しているが、ほとんどの調査箇所でも天然更新が確認された。比較的健全であり、更新も期待出来る林分である。
- ・本地域はおおむね良好に保護・管理されている。
- ・引き続き、巡視・モニタリング等により経過を観察していく。

3 斜里岳生物群集保護林

実施した現地調査

森林生態系多様性基礎調査(5箇所)

斜里岳周辺地域の生物群集を有する森林

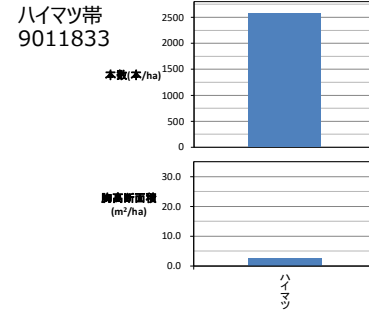


3 斜里岳生物群集保護林

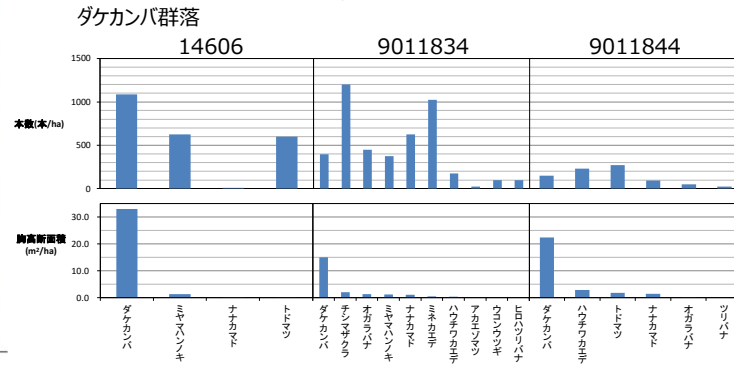
実施した現地調査

森林生態系多様性基礎調査(5箇所)

森林生態系多様性基礎調査(5箇所)



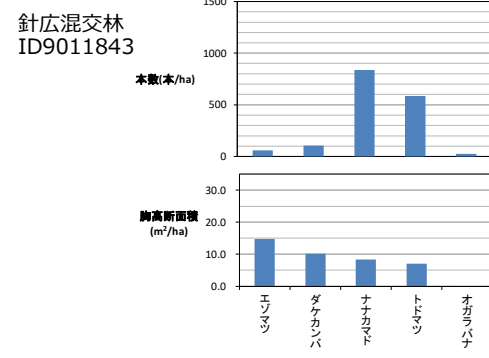
植生帯	ID	優占種	発達段階	高木層		亜高木層		施業 形跡	被害情報等
				高さ(m)	植被率	高さ(m)	植被率		
ハイマツ	9011833	ハイマツ	天然更新 初期					なし	なし
ダケカンバ	14606	ダケカンバ	天然更新 成熟	9 ~ 12	80%	5 ~ 7	10%	なし	なし
	9011834	ダケカンバ	天然更新 成熟	6 ~ 16				なし	なし
	9011844	ダケカンバ	天然更新 成熟	15 ~ 19	60%	7 ~ 14	20%	なし	あり(風害・凍害)
針広混交林	9011843	エゾマツ、ダケカンバ	天然更新 老齢	18 ~ 24	50%	8 ~ 18	30%	なし	あり(風害・凍害)



ダケカンバ帯の林相



針広混交林の林相



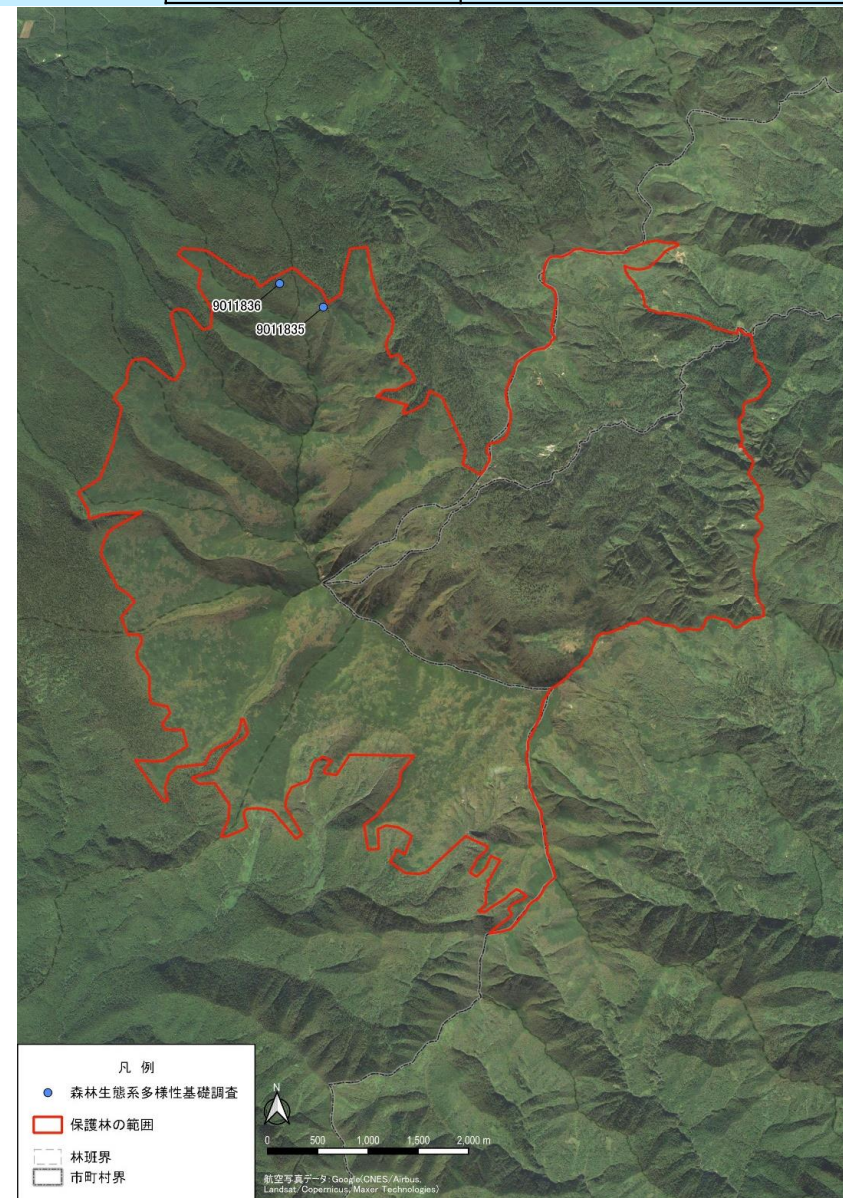
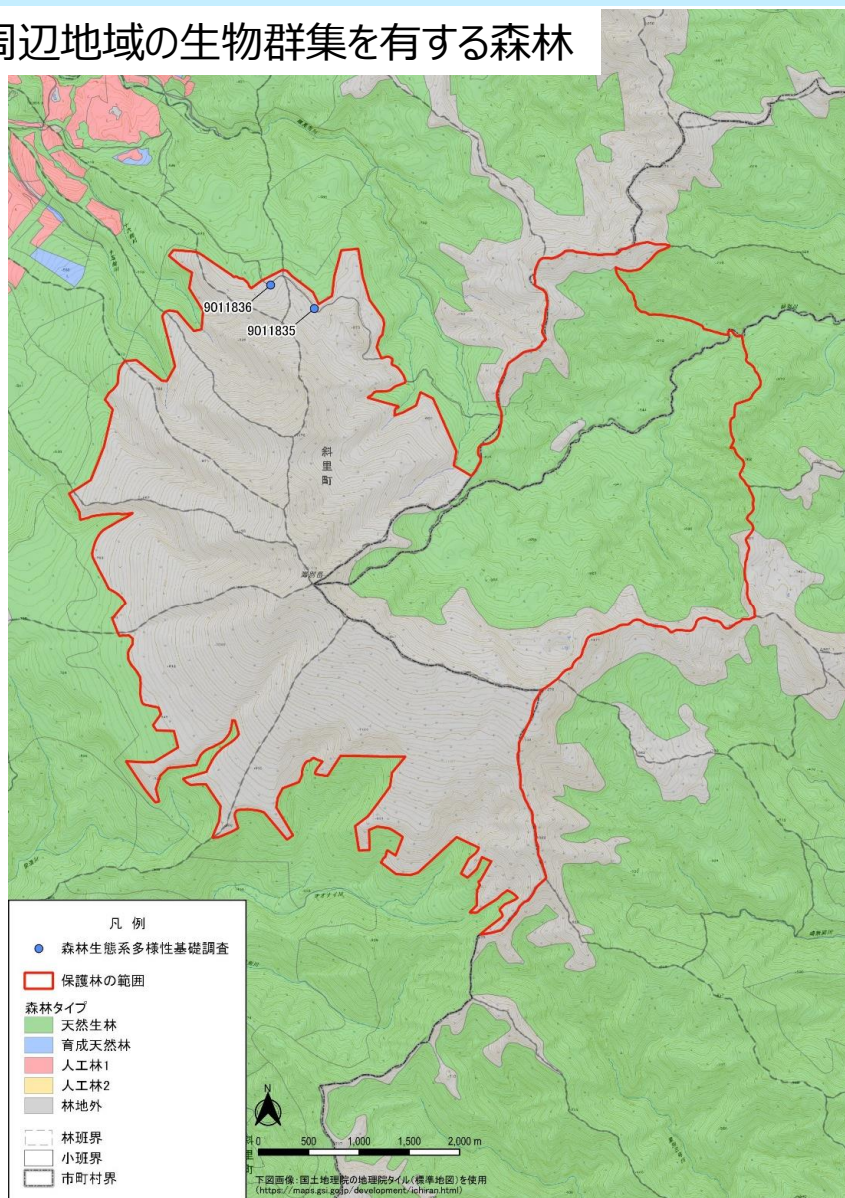
確認された影響[特になし]
 ・各地点の林分の発達段階により植生に大きな変化はないと考えられる。
 ・引き続き、巡視・モニタリング等により経過を観察していく。

4 海別岳生物群集保護林

実施した現地調査

森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

海別岳周辺地域の生物群集を有する森林

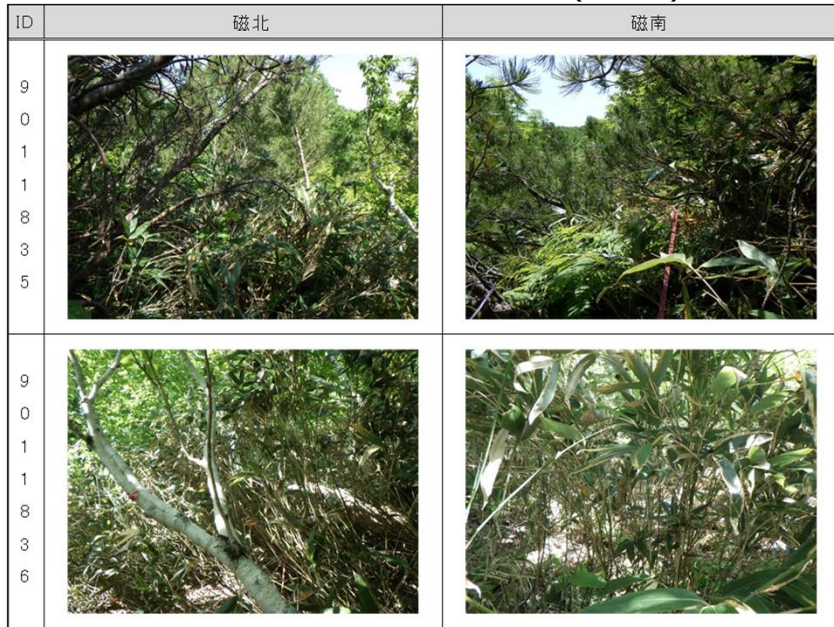


4 海別岳生物群集保護林

実施した現地調査

森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

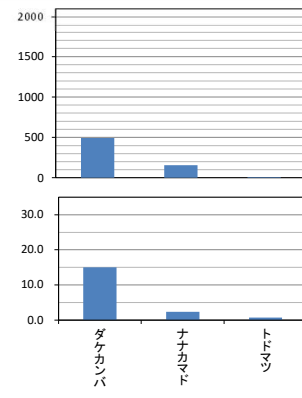
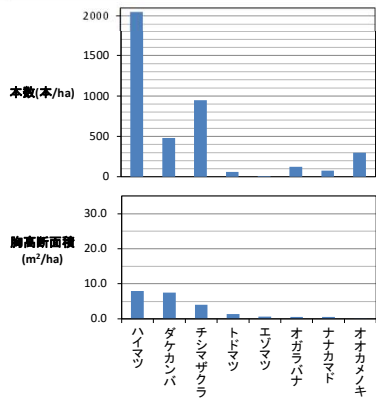
森林生態系多様性基礎調査(2箇所)



9011835



9011836



確認された影響[特になし]

- ・ダケカンバの低木林の下層にハイマツやナナカマド等が生育しており、典型的な北海道の高山帯の特徴を示しているといえる。
- ・下層はチシマザクラ、ダケカンバ等の低木、林床植生はチシマザサが優占していた。
- ・林分の発達段階により、植生として大きな変化はないと考えられる。
- ・引き続き、巡視・モニタリング等により経過を観察していく。

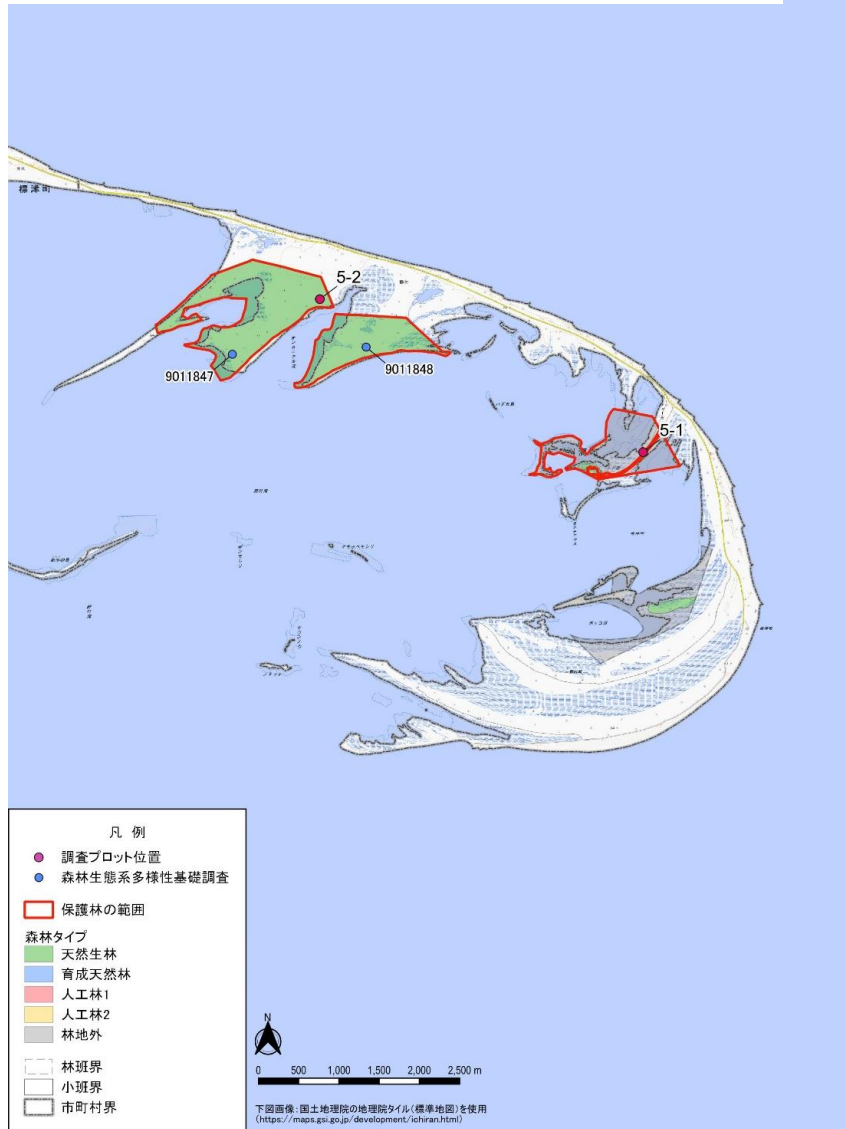
ID	優占種	発達段階	高木層		亜高木層		施業形跡	被害情報等
			高さ(m)	植被率	高さ(m)	植被率		
9011835	ダケカンバ	天然更新 成熟	5 ~ 10	10%			なし	なし
9011836	ダケカンバ	天然更新 成熟	7 ~ 12	10%			なし	なし

5 野付半島生物群集保護林

実施した現地調査

保護林森林詳細調査(2箇所)、森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

野付半島・野付湾周辺地域の生物群集を有する森林



5 野付半島生物群集保護林

実施した現地調査

保護林森林詳細調査(2箇所)

プロットNo.5-1

プロットNo.5-2

項目	H30	R5	比較結果等
磁北方向			大きな変化はない。
磁東方向	写真なし		大きな変化はない。
磁南方向			大きな変化はない。
磁西方向	写真なし		大きな変化はない。
天頂			大きな変化はない。

項目	H30	R5	比較結果等
磁北方向			大きな変化はない。
磁東方向	写真なし		大きな変化はない。
磁南方向			大きな変化はない。
磁西方向	写真なし		大きな変化はない。
天頂			大きな変化はない。

保護林名	野付半島生物群集保護林			
プロットNo.	5-1		5-2	
日No.	20014-1		20014-2	
調査日	2018/8/8	2023/9/28	2018/8/8	2023/9/28
標高	4m		6m	
斜面方位、傾斜(平均)	0°		0°	
局所地形	平坦地		平坦地	
林分状況	【高】主要構成樹種 なし 【高】樹高 - 【高】植被率 0% 【高】DBH - 【中】主要構成樹種 なし 【中】樹高 - 【中】植被率 0% 【中】DBH - 【低】主要構成樹種 なし 【低】樹高 - 【低】植被率 0% 【低】DBH - 最大樹高樹種 - 樹高 - 最大直径樹種 - 直径 - 気象害 - 病虫害 - 気象害等のコメント -	なし - 0% - なし - 0% - なし - 0% - なし - - - - - - -	ダケカンバ、ミズナラ 17~24m 70% 31~88cm ダケカンバ 5~8m 20% 5~8cm ダケカンバ、エゾヤマザクラ 1~5m 10% 5cm未満 ダケカンバ 24.9m ミズナラ 87.9cm - - - - - -	ダケカンバ、ミズナラ 17~25m 70% 37~89cm ダケカンバ 5~8m 20% 5~8cm ダケカンバ、エゾヤマザクラ 1~5m 10% 5cm未満 ダケカンバ 25.4m ミズナラ 89.5cm - - - - - -
鳥獣類痕跡	エンジン痕跡 - その他痕跡 - 痕跡の割合 - 痕跡のコメント -	- - - -	食痕 - 軽微 -	食痕 - 軽微 古いシカのミズナラ剥皮あり
林床植生	主要構成種 (主体は80%以上) 優占する植物種 植被率 植生高 天然更新状況	草本類主体 ススキ、ハマニク 100% - なし	草本類主体 ススキ、ハマニク 90% 0.1~1.6m -	ササ類主体 ミヤコザサ 100% 0.1~0.5m 普通
保護林の状況	-	優占種や植被率に関して大きな変化はなかったが、出現種数がやや減少した。	-	大きな変化は無く、概ね健全な林分であった。
林分等の状況	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない	大きな変化は認められない
評価・課題等確認された影響	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]	確認された影響[-]
ア:野生鳥獣 イ:病虫害 ウ:外来種 エ:温暖化 オ:自然攪乱 カ:その他 ク:特になし	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う	引き続きモニタリングによる経過観察を行う
林況写真				

5 野付半島生物群集保護林

実施した現地調査

森林生態系多様性基礎調査(2箇所)

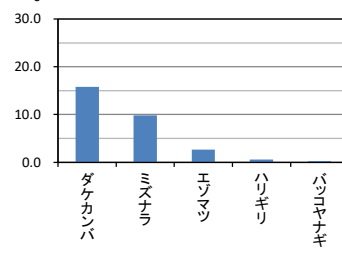
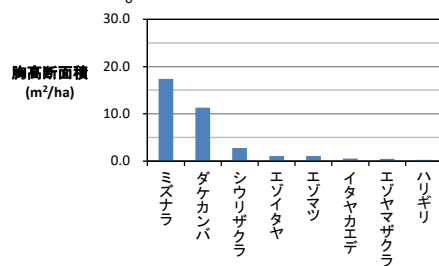
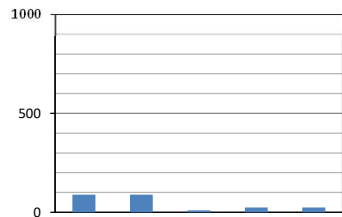
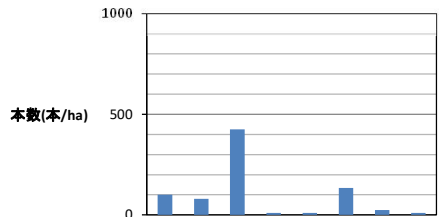
森林生態系多様性基礎調査(2箇所)



ID9011847 磁北方向



ID9011848 磁北方向



海浜草原と砂浜(プロット 5-1)



ミスナラ-ダケカンバ林(プロット 5-2)



トドワラと海浜草原



ナラ枯れと林縁部(プロット 5-2 周辺)

確認された影響[特になし]

- ・調査プロットでは前回調査からは大きな変化はなかった。
- ・半島の先端部では潮の満ち引き等により草本類に多少の変化はあるが、概ね前回調査時と同様の環境が保たれている。
- ・半島中心部の樹林は、健全な状態が確認された。
- ・本地域は概ね良好に保護・管理されている。引き続き、巡視・モニタリング等により経過を観察していく。

ID	優占種	発達段階	高木層		亜高木層		施業形跡	被害情報等	
			高さ(m)	植被率	高さ(m)	植被率			
9011847	ミスナラ、ダケカンバ	天然更新	成熟	18 ~ 27	80%	8 ~ 17	20%	なし	なし
9011848	ミスナラ、ダケカンバ	天然更新	成熟	16 ~ 23	70%	6 ~ 14	20%	なし	なし